



未来は「自分のしわざ」次第

熊本地震や千葉をはじめ各地で起こる豪雨、異常な暑さによる熱中症や水難事故など、暗いニュースを聞いたたびに、大成中の生徒や先生、関係者の皆様は大丈夫かなと心配になりました。2学期が始まり、何事もなくいつもの始業式を迎えることができ、ほっとするとともに、ありがたい気持ちで一杯です。

さて、世界では今も戦争が続いています。戦争と聞くと私はいつも、ローマ教皇ヨハネ・パウロ2世が広島平和記念公園にて話された言葉を思い出します。

「戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命を奪います。戦争は死そのものです。」

私は学生の時、神様に祈っても意味がないと思っていました。神様に祈っても人生上手くいかない時が多々あります。世の中では事件や事故で命を落とすこともあり、戦争はその最たるものです。神様に祈っても助けてくれないのなら、祈る意味がないとさえ思っており、宗教に対して不信感を抱いていました。その宗教の一つ、キリスト教カトリック教会の最高指導者であるローマ教皇はいったい、どのようなお話をされるのかと、正直、皮肉めいた気持ちでした。「戦争は人間のしわざです。」…初めてこの言葉に触れた時、衝撃を受けました。当たり前の言葉…確かに戦争を起こしているのは人間同士…。神様は？…そのような行いを望んでいない。戦争を始めるのも終わらせるのも、すべて「人間のしわざ」…つまり、人間次第ということです。

私はできる努力もせず、神頼みをしていました。神様にお願いしたら助けてくれる、解決してくれると勝手に思い込み、他力本願でした。神様への祈りは自分の心との対話であり、正しくあろうとする誓いなのだと少し視野を広げることができ、ひどく感銘を受けました。

「人間のしわざ(行い)」次第という視点で日常の景色を改めて眺めてみたいと思います。

- 夢や希望を叶えるのは、「自分のしわざ」次第です。…「神頼み」も最後の心のよりどころとしては必要ですが、まずは今できることに挑戦し努力することが大切です。
- 誰かとの絆を育み心豊かな人生にするのも、「自分のしわざ」次第です。…優しくすれば、優しさが返ってきます。恨めば、恨みを買います。自分の行い変え、歩みよること、関係性が改善することもあります。ただ、人間関係は、お互いの歩みよりがないと、片方だけでは信頼関係は作れません。「相手のしわざ」で歩みよれない時は、無理をしてこちらから歩みよるよりは、別の誰かに相談したり、助けを求めたりすることが重要です。助け求めることもまた、大切な「自分のしわざ」です。

これからの学校生活をはじめ、人生を実り多き、豊かにするのは、「自分のしわざ」次第…つまり、自分次第です。新たな頑張りをスタートさせるもよし、これまでの頑張りを継続するもよし、未来は「自分のしわざ」次第で変わります。無理をする必要はなく、自分のペースで構いません。自分の望む未来に向かって、よりよき一步を踏み出してほしいです。

2学期も、トライやるウィークをはじめわくわくオーケストラ、合唱コンクールや文化発表会など、ご家庭や地域の皆様にお世話になる行事が目白押しです。今後とも、お力添えを賜りたく、よろしくお願いいたします。

9月の予定

1日(火)課題・実力テスト(～2日)

14日(月)トライやるウィーク(～18日)

10月の予定

1日(木)中間テスト(～2日)

6日(火)わくわくオーケストラ(1年)

7日(水)市内全体教科研(3校時まで)

19日(月)オープンスクール(～23日)

21日(水)合唱コンクール(1年:1, 2校時、2年:3, 4校時、3年:5, 6校時)

23日(金)文化発表会(午前中)

27日(火)中高合同音楽会(代表学級)

29日(木)学力調査(3年)

※ 音楽会会場:兵庫県立芸術文化センター

全校集会(8/31)にて表彰しました(^_^)。心からの賛辞を送ります。

【 第49回 兵庫県吹奏楽コンクール 東阪神地区大会 】

吹奏楽	中学生A部門	金賞
-----	--------	----

【 第73回 兵庫県吹奏楽コンクール 】

吹奏楽	中学生A部門	銀賞
-----	--------	----

【 第33回 阪神中学校新人水泳競技大会 】

水泳	男子100m平泳ぎ	第2位
----	-----------	-----



どのクラブも最後の瞬間まで、諦めずに勝負に挑みました。感動をありがとう。力の限り勝負した自分を誉め、その思いや経験を様々なことに活かしてください。



吹奏楽部は東阪神地区代表として、アクリエひめじの大舞台に立ち、堂々たる演奏で観客を魅了しました。とても素敵でした。

8/21～ おもちゃ作りワークショップ・地蔵盆

子どもたちの健やかな成長を願い!!

大成中に集う皆様の安全とご健康を見守ってくださる、お地蔵様への感謝の気持ちを込めて毎年、地蔵盆を行っています。地蔵盆開始前には、PTA主催のおもちゃ作りワークショップも行われています。今年は、木や木の実でつくるキーホルダーを作りました。また、木や竹で作られた動くおもちゃも自由に触ることができ、楽しそうに遊ぶ子どもたちの様子に心がほっこりしました。五感を活かした遊びが子どもたちの成長には欠かせず、このような機会があることに感謝します。また、人々が集い、人との繋がりがや命の大切さを体感できるこの地蔵盆は本校の魅力であり、これからも大切に、後世へと引き継いでいく必要があると強く感じました。



7/22、8/27小中連携教員研修など

生徒理解を深め、指導力を高める!! 安心・安全な環境を整える!!

○ 7/22「尼崎市児童相談所が開設して」

講師 学校連携コーディネーター（尼崎市児童相談所 こども安心支援課、前尼崎市立立花中学校長）

○ 8/26「救急シミュレーション訓練研修」講師 尼崎市東消防署

○ 8/27「児童・生徒の心理症状・問題行動の理解と心理支援
～描画テストによるアセスメントと発達段階を踏まえて～」

講師 大成中・潮小 スクールカウンセラー

○ 8/28「いじめ対応・不登校児童生徒について」

講師 尼崎市教育委員会 いじめ防止生徒指導担当・不登校担当 …など



日頃より、学校をはじめ教育委員会等の主催による多種多様な研修があります。夏休みは特に、時間の確保がしやすく、教職員全体の研修が多く設定されています。SNSの発達により、急激に変化する世の中の影響を受け、学校教育も難しい局面に立たされています。生徒を教育活動の中心に置き、その成長を最大限支援することが重要です。まずは生徒理解が大切となり、その理解を活かした指導力の向上が求められます。『温故知新』…新しきを知り、古きよき実践を振り返り、今後とも生徒たちとともに、私たち教員も学び続けていきます。